

# 南阿蘇における多様な主体の連携による 持続可能なまちづくりの施策



南鉄応援団  
熊本大学大学院修士1年 清水奨伍

# 1. 政策提案の背景

平成28年4月 熊本地震 > 阿蘇の交通(道路・鉄道)に大きな影響

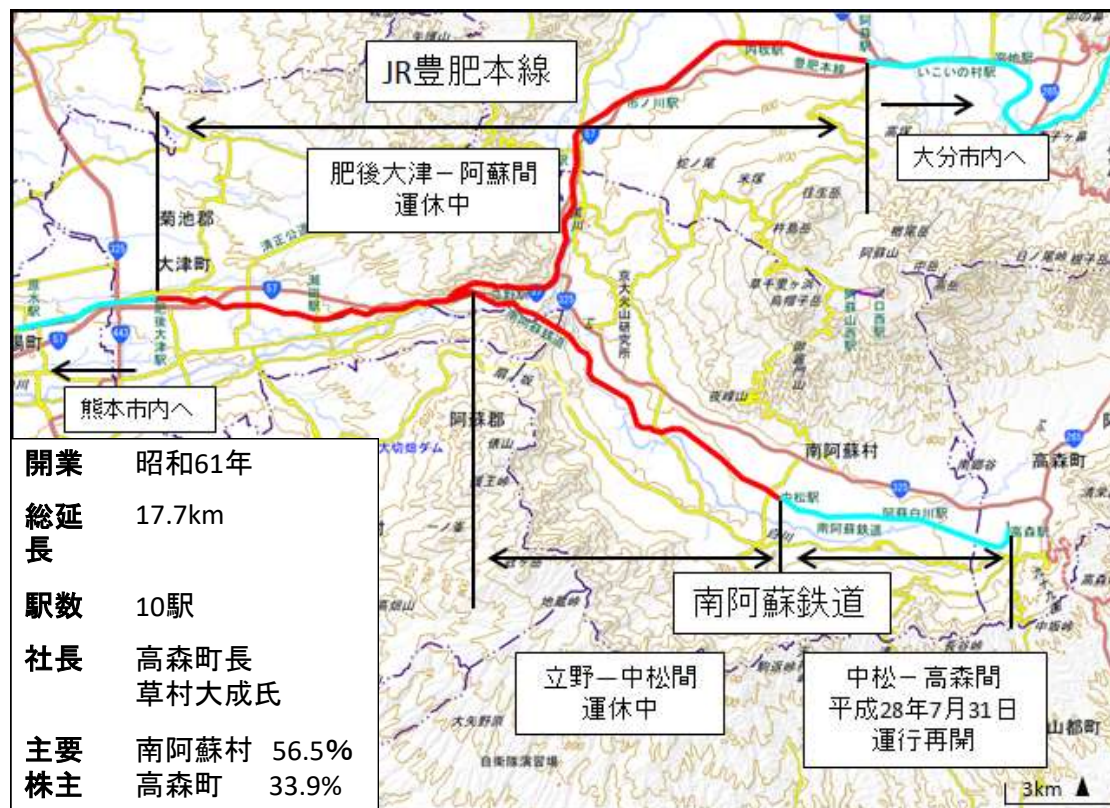
## 第3セクター鉄道 南阿蘇鉄道

- ・復旧に対し、様々な課題
- ・部分運行は再開されたが、公共交通として機能できない

平成29年4月 国土交通省  
鉄道施設災害復旧調査結果

全線復旧には、

復旧工事期間: 5年程度  
復旧費用: 65億~70億円



南阿蘇における多様な主体の連携による持続可能なまちづくりの施策

## 2. 南阿蘇鉄道復旧への地域の取り組み

H28年 5/11 復旧方針の意思決定

- ・臨時通学バスの運行
- ・熊本地震から**全線復旧**する.
- ・南阿蘇鉄道復活への機運醸成



H28年7月31日 南阿蘇鉄道復活祭

復興イベント



南阿蘇鉄道復旧支援対策  
実行委員会Facebookページ

情報発信



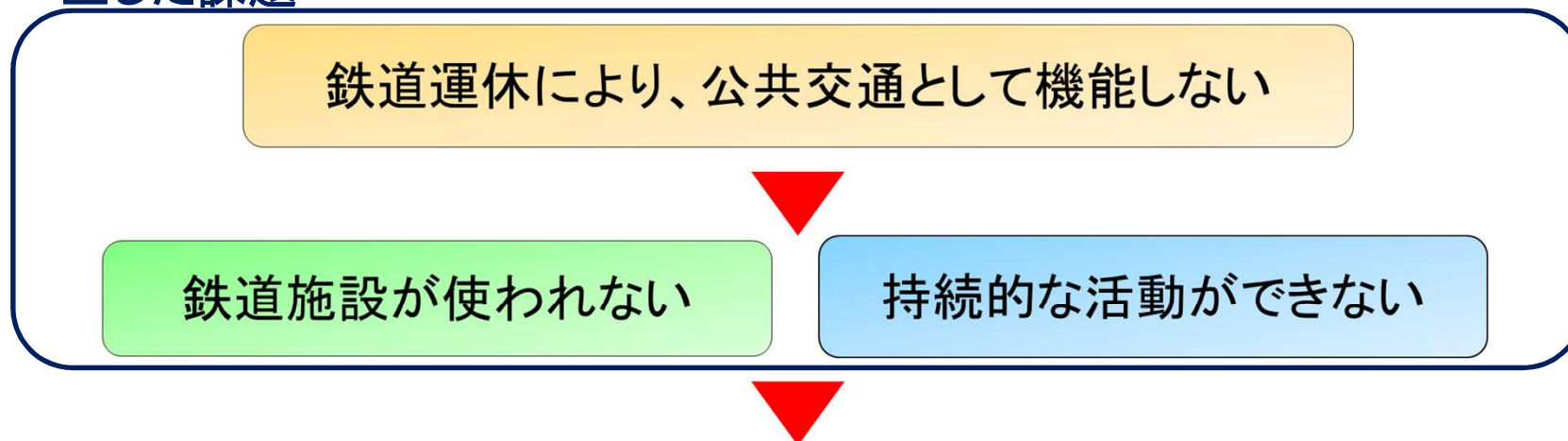
麒麟午後の紅茶CM

地域内外の  
様々な支援

### 3. 解決したい課題

- ・様々な主体が南阿蘇鉄道の復旧に向けて取り組んでいるが、連携して**継続的に活動を行っていくことが難しい**.
- ・**風化**による観光客や支援者の減少が問題視される.

#### 生じた課題



長期的な復旧期間において、ゆるやかで持続可能なまちづくり活動が必要となる。

東日本大震災から復興した三陸鉄道(岩手県第3セクター鉄道)の取り組みを調査

## 4. 三陸鉄道の復興への取り組み

平成23年東日本大震災で甚大な被害

早期かつ積極的な復旧活動

- ・復旧費用特別措置(新しいスキーム)
- ・地域内、全国的な多くの支援



開業	昭和59年
総延長	北リアス線 71.1km 南リアス線 36.6km
駅数	北リアス線 16駅 南リアス線 10駅
社長 (被災当時)	元岩手県庁幹部 望月正彦氏
主要株主	岩手県 48.00% 沿線市町村 19.33% 関係市町村 2.67%

三陸鉄道を勝手に応援する会

ゆるやかな連携のもと、持続的に輪を広げることが出来る仕組み

NPO夢ネット大船渡 南リアス線盛駅

駅空間の利活用、日常的に地域が駅に集える場づくり

平成26年4月 全線復旧  
地域のための鉄道に

## 5. 提案内容

### ① 多様な主体が一体となる機運づくり

- ・鉄道会社，自治体，地域が連携できる関係づくり

### ② 鉄道施設の活用

- ・駅を日常的に利用できる場づくり
- ・長期化する復旧期間でも駅使っていく

### ③ 地域の足として日常を確保する

- ・公共交通（特に高校生の通学）としての重要性
- ・南阿蘇鉄道を軸とした公共交通網

- ・課題解決のために、生じた課題と逆のプロセス
- ・調査結果をもとにした実践活動へ

## 6. 実践活動(南鉄応援団)

「駅つなぎ、人つなぎ」活動

南阿蘇鉄道、南阿蘇村、高森町、地域の方々とのゆるやかな連携を基に活動

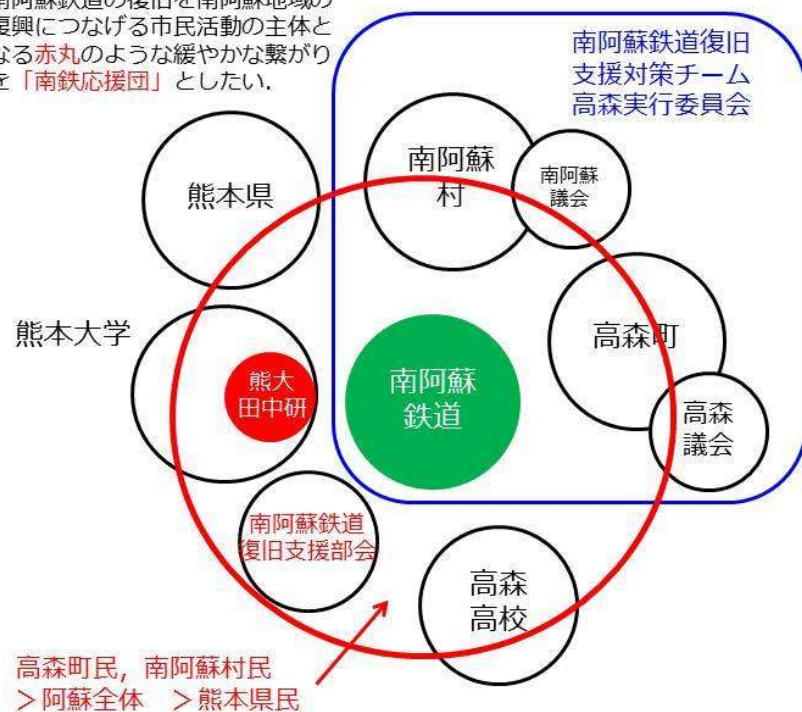
2/20

研究報告会・南鉄応援団結成

@Water Forest

### 南鉄応援団 (Minami-Aso Railway Encourage Team)

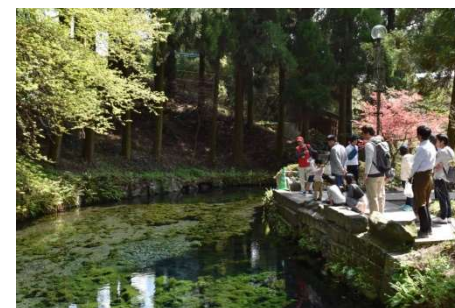
南阿蘇鉄道の復旧を南阿蘇地域の復興につなげる市民活動の主体となる赤丸のような緩やかな繋がりを「南鉄応援団」としたい。



4/15

南阿蘇鉄道復活祭—4thSTAGE—

@南阿蘇白川水源駅



9/2,3

南阿蘇☆銀河鉄道の夜 駅キャンプ

@南阿蘇水の生まれる里白水高原駅



南阿蘇における多様な主体の連携による持続可能なまちづくりの施策

## 7. まとめ

南阿蘇鉄道の復旧・復興は、南阿蘇地域の復興に大きく関わるといえる。南阿蘇地域だけでなく、**熊本県全体で考える必要がある。**

長期的な復旧期間を要するために、**持続可能な活動が必要となる。**

南鉄応援団の活動は、現在もたくさんの方が応援してくれており、少しずつ**ゆるやかな繋がりづくり**を実践している。